

**学校を取りまく環境**

- 乗鞍岳の麓、標高1,210m、豊かな自然に囲まれた山間僻地校。
- 上高地の入口「沢渡」、温泉地「白骨」、乗鞍岳の麓「乗鞍高原」等の観光地である。
- 昔からスキーの盛んな地である。
- 多くの家庭が旅館、民宿等の観光業に関わっている。
- 安曇村が松本市と合併して18年目となる。村の時代から継続する行事もまだ多い。
- 過疎化が進行している。R5年度：小学校19名 中学校10名
- 学区が広く、児童生徒が登下校時にバスを利用している。また、熊の出没期には安全のため通学通園バスを利用して登下校している。
- 中学校卒業後の高校への通学方法に難しさが伴う。

**学校教育目標 志 高 清 練**

大野川の雄大で厳しい自然に負けないように志を高く持ち、清らかに豊かな心を練りあげよう (平成7年以来29年目)

**教育の方針・学校長の願い**

- 自ら考え主体的に判断して、他と協働しながら実践し、問題解決のできる自立した子どもの育成
  - ・絶えず自己変革をしながら、笑顔のある生活を自らつくり出そうとする意欲・態度の育成
- 大野川に根ざした心豊かで創造的な子どもの育成 (故郷への愛着を持ち続け、自分のライフステージのどこかで乗鞍 大野川の地と関わろうとする気持ちの育成)
  - ・「少人数であること」を活かして、一人一人の児童生徒が思いきり楽しんで一人一人が輝けるような体験や活動、学びの場の創造
  - ・一人一人の児童生徒が大野川小中学校の培ってきたものを継承しつつ、さらによりよいものにして後の児童生徒に伝えていける意欲・態度の育成

**めざす子どもの姿**

- やさしい子ども
- たくましい子ども
- かしこい子ども

**本年度の重点目標 (R4より継続)**

「小中併設・小規模校の特色や少人数の良さを生かした主体的・対話的で深い学びの場の創造」  
～異学年集団での学びを軸に～

**全校研究テーマ**

「小中併設・小規模校において、友とかかわりながら高め合っていく学習のあり方」  
～ 異学年集団での学び ～

**道徳**

- 自分が取り組もうとする活動を見通し、自分のすべきことを明確にし、目的意識を持って最後まで粘り強く取り組む児童・生徒を育成する。
- 多様性を受け入れ、多様な価値観にふれながら相手の心の痛みや苦しみを感じ、励まし合ったり、高め合ったりしようとする態度を育成する。

**特別活動**

- 児童会・生徒会が主体となる自治活動の推進。
- ・児童集会・生徒集会、乗鞍祭・乗鞍祭等諸行事を通し、企画・運営力を育成する。
- ・「小中仲よし清掃・給食・集会」等の交流活動・行事を通し、互いの姿から学びながら協調性・自主性を育成する。

**人権教育**

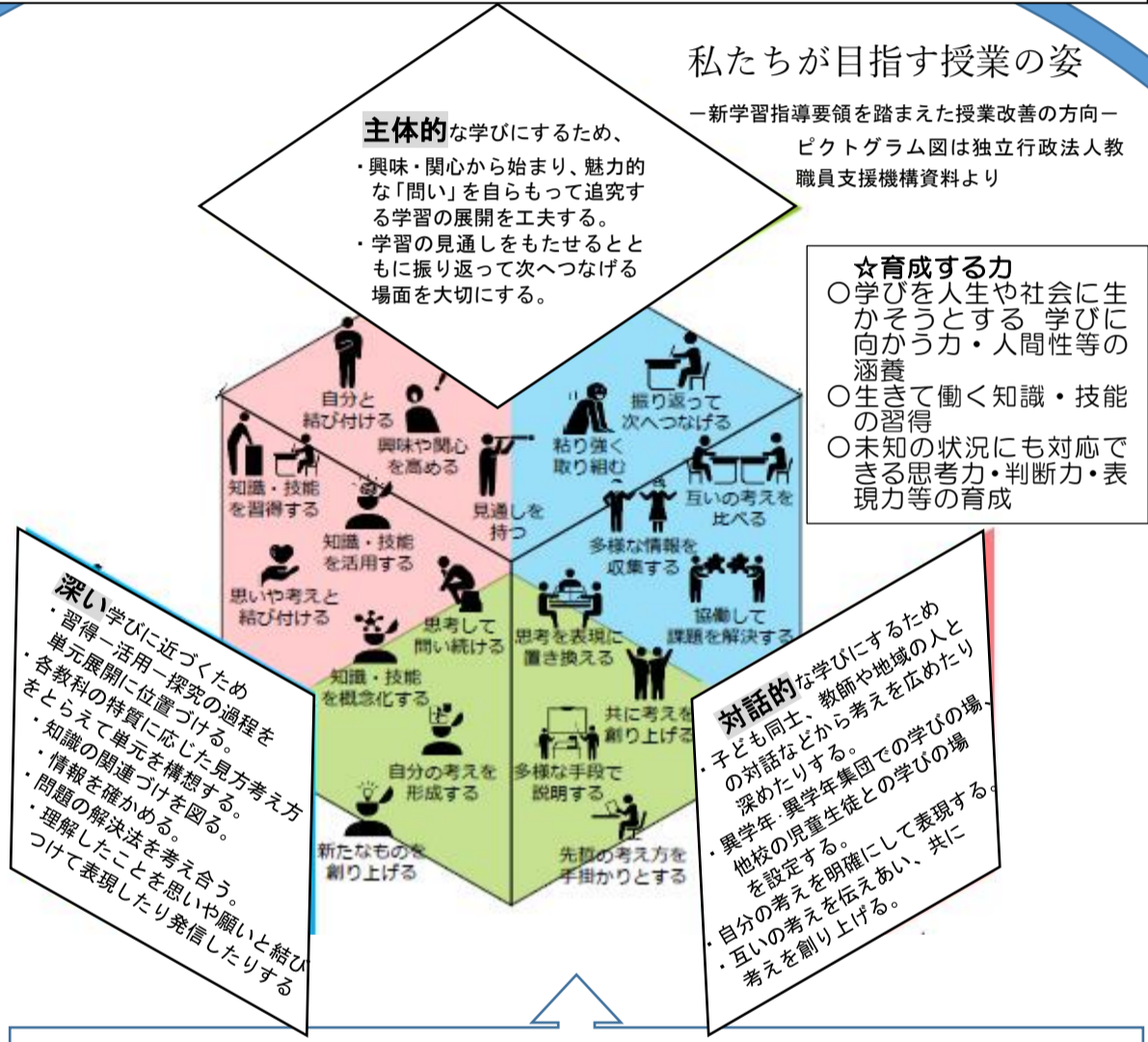
- 人権に関する正しい判断力と豊かな人権感覚を育成する。
- 人の心の痛みがわかり、多様性を受け入れながら互いに支え合える共生・共存の感覚と考え方を育成する。
- 自分の大切さと共に他の人の大切さを認めて具体的な態度や行動として表す実践的態度を育成する。

**総合的な学習の時間/キャリア教育**  
(小「のりくらの時間」・中「大野川タイム」)

- 多様な発表場面で、自分の考えや思いを適切に相手に伝える力を育成する。
- 地域の自然と人々の生活との関わりについての探究的な学習を通して、総合的に追究する方法を身に付け、身近な地域の課題を自ら見出し、友や地域の人々と協力して粘り強く問題を解決する力を育成する。
- 地域への愛着や誇りをもち、地域のために自分にできることや、将来の自分の生き方を考えることができるようにする。

**児童生徒指導・児童生徒理解**

- 自他の違いを受け入れ、よりよい関係を築ける力を養う。
- 学校内外で自発的に挨拶をする姿勢を育てる。
- 子どもが元気いっぱい学校生活を送ることができるよう、職員会と小中中部会で児童・生徒一人一人についての理解を深め、全職員が同じ立場で支援していく。
- 卒業後、一人一人の自己実現が図れるように支援するとともに、社会適応力を養う。



**特色ある教育活動**

学校自己評価 保護者アンケート 学校関係者評価を基に次年度に向けて改善を図る

令和5年度の方角

**小中併設・小規模校の特色、少人数の良さを生かした教育の推進**

～主体的・対話的で深い学びの場の創造～

- ☆複式学級や異学年集団での学びの充実
  - ・中学校全校道徳の継続
  - ・連学年・複数学年、必要に応じ校種をまたいだ複数学年での教科授業
- ☆三校（大野川校・安曇校・奈川校）交流による学びの継続
  - ・校種、学年単位での交流や行事の継続
  - ・ICTを活用したリモート合同授業
- ☆市内や他地域の学校・関係機関、卒業生等との交流による学びの充実
  - ・ICTを活用したリモート交流
  - ・課題や問いを共有した学習交流
- ☆低学年からの小学校英語教育の継続
- ☆個に応じ個を伸ばす指導、子ども主体の学びの充実
  - ・教育相談の充実
  - ・個に応じた学習支援と全職員での共有
  - ・子ども主体の学びにかかわる研修の充実
  - ・授業のユニバーサルデザイン化とインクルーシブ教育の充実
  - ・一人一端末機器やAIドリルの活用
  - ・複数の教職員で一人ひとりの学びを支える単元内個別進度学習

**大自然の多様性と触れ合い、地域への愛着を深め、生き方を考える教育の充実**

～地域に根ざした題材を用いた各教科・生活科・総合的な学習の時間の取組～

- ☆恵まれた自然環境・地域を生かす
  - ・鷹の渡り観察会 ・乗鞍散策
  - ・アルプホルン学習 ・地域社会見学
  - ・わらびとり遠足・わらび採り
  - ・スキー教室 ・アルペンスキー大会
  - ・クロスカントリースキー大会
  - ・スキーに焦点を当てた小学校クラブ活動
  - ・自然保護活動（外来植物の除去活動等）
  - ・地域奉仕活動 ・スノーシュー体験
  - ・「のりくらを語ろう会」や「先輩の生き方から学ぶ会」等
- ☆ふるさとの良さを発信
  - ・地域の題材・地域の方々の思いに触れ、地域の良さや課題、地域貢献のあり方を児童生徒自身が見つけていく学習
  - ・自分がとらえた地域の魅力を他へ伝える活動（ポスターやパンフレット等）
  - ・ICTを活用した発信や交流
  - ・生徒自ら企画し推進する乗鞍 PR 活動 (中)

**地域をはじめとしたつながりを生かした協働的な学びや活動の充実**

☆地域の方々や学生ボランティア、他の学校の児童生徒等との積極的な交流

- ・天王寺中学校、松崎中学校との交流
- ・松崎町訪問・交流 } 中1, 2で安曇校と合同・隔年実施
- ・奥穂高岳登山
- ・スイスグリンデルワルト村との交流(中)
- ・乗鞍サマースクール(東京大学学生サークル)
- ・大学生の授業研究等受け入れ
- ・安曇校・奈川校との交流の継続 (合同授業、社会見学、修学旅行、登山・キャンプ、中学三校交流会)
- ・信濃学園との交流(小)
- ・地域講師の積極的な活用、地域の方々との様々なふれあい

☆校内 異学年・異校種での交流

- ・小中地区町会合同運動会
- ・小中合同音楽会
- ・小中合同始業式、終業式
- ・小中合同入学式・卒業式
- ・「小中仲よし 清掃・給食・集会」